

(様式1)

令和6年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標	1 何事にも真摯な態度で取り組み、自らの将来を創造的に切り拓く力を育む 2 自主的に知力、判断力を高め、社会の変化に対応し逞しく生きる力を育む 3 多様な人々との協働をとおして、人を思いやる豊かな心を育む
(2) 現状と課題	総合学科の特徴を生かし、生徒の幅広い進路志望等に応じたきめ細かな教育活動を通して、個性を伸ばすとともに、地域と連携・協働した探究活動や社会奉仕活動、部活動により郷土への誇りと愛着や協調性を育み、豊かな心を持った未来を切り拓く人材を育成することを目標に、日々努力している。本校生徒は素直で真面目な生徒がほとんどであるが、近年、人間関係をうまく築くことができない生徒も増加している。適切な生徒理解といじめ、不登校や問題行動等の未然防止及び早期発見のために、全教職員が連携して取り組んでいくチーム力向上の必要がある。また、生徒の多様な進路希望に対応するとともに、生徒が主体的に学習に向かう姿勢を育むための教育課程・学習指導・進路指導に関する一層の教員の資質向上が必要である。
(3) 重点目標	1 規律ある学校生活と豊かで思いやりのある心の育成 2 学力の向上と主体的・探究的な学習態度の育成 3 キャリア教育と進路指導の充実 4 保護者・地域・関係団体との連携及び協働
(4) 結果の公表	校内、外部アンケートの集計結果と「学校評価結果報告書」をホームページで公開する

学校整理番号	14
学校名	木造高等学校
全日制の課程	

自己評価実施日	令和6年12月9日(月)
学校関係者評価実施日	令和7年2月6日(木)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校関係者評価委員 4名 学校評議員 4名

自 己 評 価			学校関係者評価		(10) 次年度への課題と改善策	
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度		(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等
1	規律ある学校生活と豊かで思いやりのある心の育成	① 基本的な生活習慣を確立するために ・部活動や学校生活の中で礼儀やマナーの徹底を図る。 ・二者・三者面談の充実により生徒理解を図り、いじめや不適応の未然防止や早期対応を図る。 ② 安全安心な学校生活を送るために ・相談しやすい環境づくりに努め、SCやSSWを定期的に配置し、教育相談や特別支援体制の充実を図る。	①学校の教育活動のあらゆる場面で礼儀・容儀等の指導を行った結果、全体としては良好である。面談や各種アンケートを実施し、生徒理解やいじめ防止と早期発見に努めたが、問題行動やいじめが多数発生し、他者に対する理解と尊重についての指導が不十分である。 ②SCやSSWの支援を受けながら、いじめ相談や悩み相談に対応し、一定の成果を上げることができた。	B	・伝統ある木造高校の生徒としての態度を今後も継続して育成してほしい。 ・今後も生徒との対話を重視し、生徒一人一人に適切な対応をしてほしい。	・挨拶、礼儀及び基本的な生活習慣を育成するために教職員全体で指導を継続する。 ・面談を通して、生徒理解を一層深め、いじめの防止や早期発見につなげる。また教育相談の充実を図るために、相談しやすい環境づくりを構築し、いじめ件数の減少、欠席者数の減少、協働できる態度の育成をめざす。
2	学力の向上と主体的・探究的な学習態度の育成	① 学力の向上を図るために ・生徒の実情に即した分かる授業を実践できるように授業改善を図る。また、家庭学習習慣が確立するよう指導する。 ② 教員の資質向上により主体的学習態度を育成するために ・各種の校内研修や各教科の研究授業を計画・実施することで自己研鑽し、学習指導に生かすようにする。また、ICTを活用した授業を展開するための教材研究に取り組み、生徒が主体的に学習に取り組めるよう授業改善を図る。 ・総合的な探究の時間及び課題研究において、仲間と協働して循環的な探究活動を行うことで、課題解決能力と主体的に学ぶ力を身につける。	①個に応じた丁寧な指導を実践することで学力の向上を図ったが、家庭学習の習慣が確立されていない生徒が多く、大学進学に向けた学力の向上には結びついていない。 ②年間を通して多くの校内研修や研究授業を行ったことで教員の資質向上を図ることができ、生徒の主体的な取組の育成につながった。しかし、生徒のタブレット端末の使用が常態化したことにより、考察する力や書く力が身に付かないという課題が表れてきている。総合的な探究の時間においては、フィールドワークを推奨したことにより、より深い探究活動が実践でき、発表会では大きな成果を上げることができた。	B	・今後も、生徒の進路達成のために、生徒の希望を叶えられるよう、きめ細かい指導をお願いする。 ・ICTを授業で効果的に活用していた。今後もよりよいものにしてほしい。	・学力の向上を図るためには、家庭学習の定着が必要である。次年度は、全年次でClassiを導入・活用することで、家庭学習の習慣化を図る。 ・タブレット端末の利用については、場面場面で制限をかけることにより、思考力・判断力・表現力の育成を図る。 ・総合的な探究の時間においては、探究活動がより循環的な活動になるように、また、教員も協働するように改善を図ることさらに深化をさせる。
3	キャリア教育と進路指導の充実	① キャリア教育の推進のために ・生徒の幅広い進路志望に対応するために、総合的な探究の時間及び課題研究において、自己の進路希望に関連した課題を設定させ、地域や小学校・中学校・高校・大学等と連携を図りながら、循環的な取組を実践できるよう指導する。また、1年次においては、産業社会と人間の時間において、職業観・勤労観の育成のためインターンシップを実施する。 ② 進路指導の充実のために ・進路選択や卒業後の生活に役立つよう、保護者向けの講演会を積極的に実施していく。	①産業社会と人間、総合的な探究の時間、課題研究において、生徒の進路志望達成のために、分掌間の連携や教科横断的な取組も効果的であり、3年間を系統的に指導できている。地域や他校種の学校との協働学習も生徒の成長と学力の向上に結びついている。 ②保護者向けの様々な啓発活動を行うことで、生徒の進路志望達成のための情報を提供できている。進学指導における課外講習については、教員の負担感が依然として強いが、各教科と担当教員の協力があり、何とか実施できている。	A	・地域や他校と連携して、総合学科の特徴を活かして探究活動を進めてほしい。 また、台湾との交流は良かったが、より多くの国とも交流をもってはどうか。 ・中学生が選びたいと思う学校作りを引き続き取り組んでほしい。	・産業社会と人間、総合的な探究の時間、課題研究については、引き続き循環的な取組を推奨してより深化していくよう共通理解を図っていく。 ・保護者は、進路に関する知識や情報が乏しい傾向にあるため、今年度の実績を継続しながら、より必要な情報を提供していく。 ・資格取得に関しては、特に英語検定2級取得の指導に努めていく。
4	保護者・地域・関係団体との連携及び協働	①保護者・地域への情報提供とPRのために ・学校情報を積極的に発信するために報道機関(新聞社、テレビ)への取材・報道依頼をしたり、HPを定期的に更新したりする。また、木高新聞・PTA会報・学校案内・年次通信・進路通信等を発行し、保護者へ配布する。 ②地域との連携・協働 ・地域からの要請に応え、ボランティア活動に積極的に参加・協力する。また、本校後援会・同窓会と連携を図り、教育活動に協力を依頼する。	①情報発信については、概ね行うことができた。つがる市や学校後援会・同窓会の協力もあり、つがる市広報への木高通信の掲載や多くの新聞記事の掲載があり、外部からの評価は良好である。 ②講演会、インターンシップ、様々なボランティア等、学校教育活動の中はもちろん、それ以外においても地域からの依頼に対応しながら参加・協力することで、生徒の成長につなげることができた。	A	・つがる市広報へ木造高校の活動を掲載しているが、地域住民からはとても反響がある。 ・木造高校は、地域のまつりやイベントに積極的に参加していてとてもありがたい。 ・報道等により、地域にとって必要な学校として位置付けが明確である。	・HPの更新と情報発信にはよりPRできるような改善が必要であり、教員間での共通理解を図っていく。 ・地域・保護者・本校後援会・同窓会との連携については、より深めることができるよう、教職員全員が関わる意識を醸成し、教育活動がより充実できるように進めていく。

(11) 総括	生徒の多様な進路志望に対応するために総合学科の特徴を生かし、3年間を見通した様々な取組を実践することができた。本校生徒の希望の多くは、大学進学であるが、難関大学等レベルの高い大学や一般試験での受験に対応できるカリキュラム編成には難がある。そのため、総合型選抜や学校推薦型選抜での受験に比重を置いた指導となる。公務員志望者には、2年次より外部と連携した学内講座を設定することで実力を養成し、高い合格率につながっている。少数の就職希望者には個に応じた指導を実践できている。また、1年次で履修する「産業社会と人間」や2・3年次で履修する「総合的な探究の時間」における探究活動では、地域や小学校・中学校・高校・大学と連携した活動を展開しており、他者と協働した循環的な探究活動により知識や技能の深化を図ることができている。しかしながら、生徒指導、学習指導、進路指導等においては、まだまだ課題があり、その改善に向けた取組を校長が中心となって進めていく方針である。
---------	---